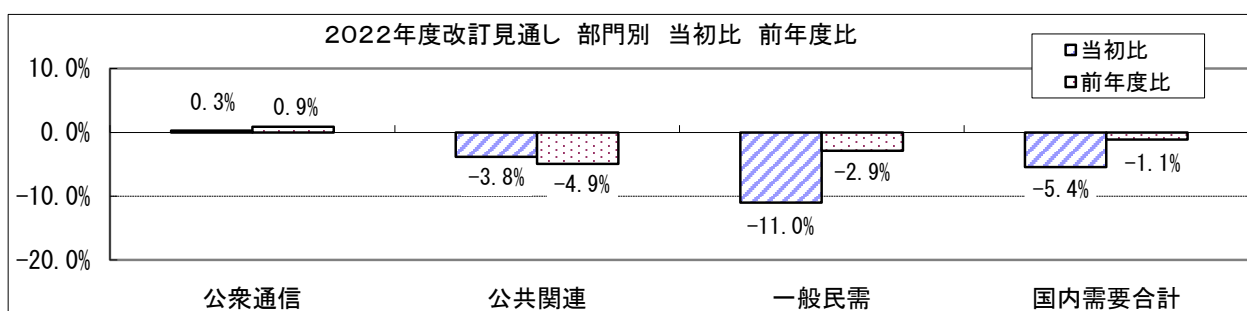
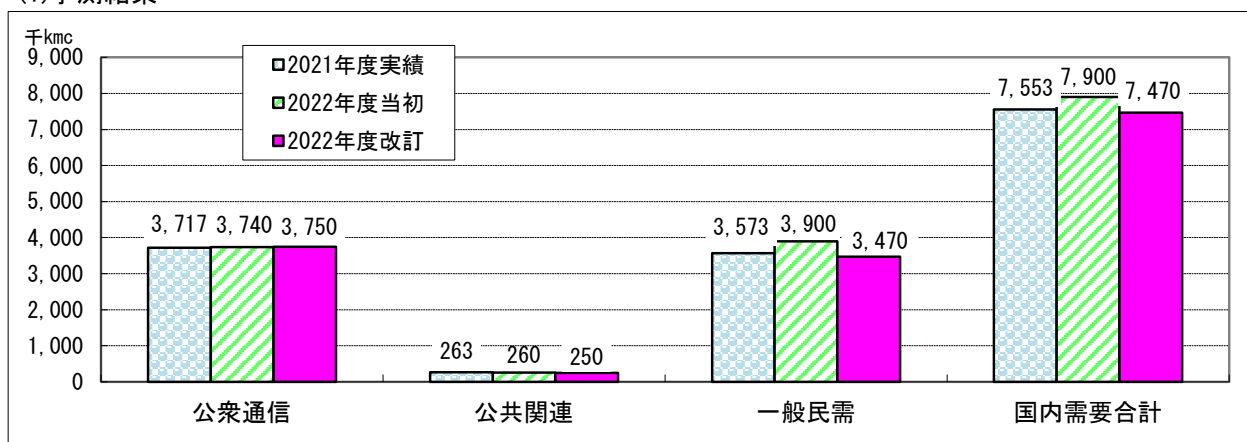


国内光ケーブル需要見通し概要

2022年9月
調査統計専門委員会

1. 2022年度改訂見通し

(1) 予測結果



単位: 千kmc

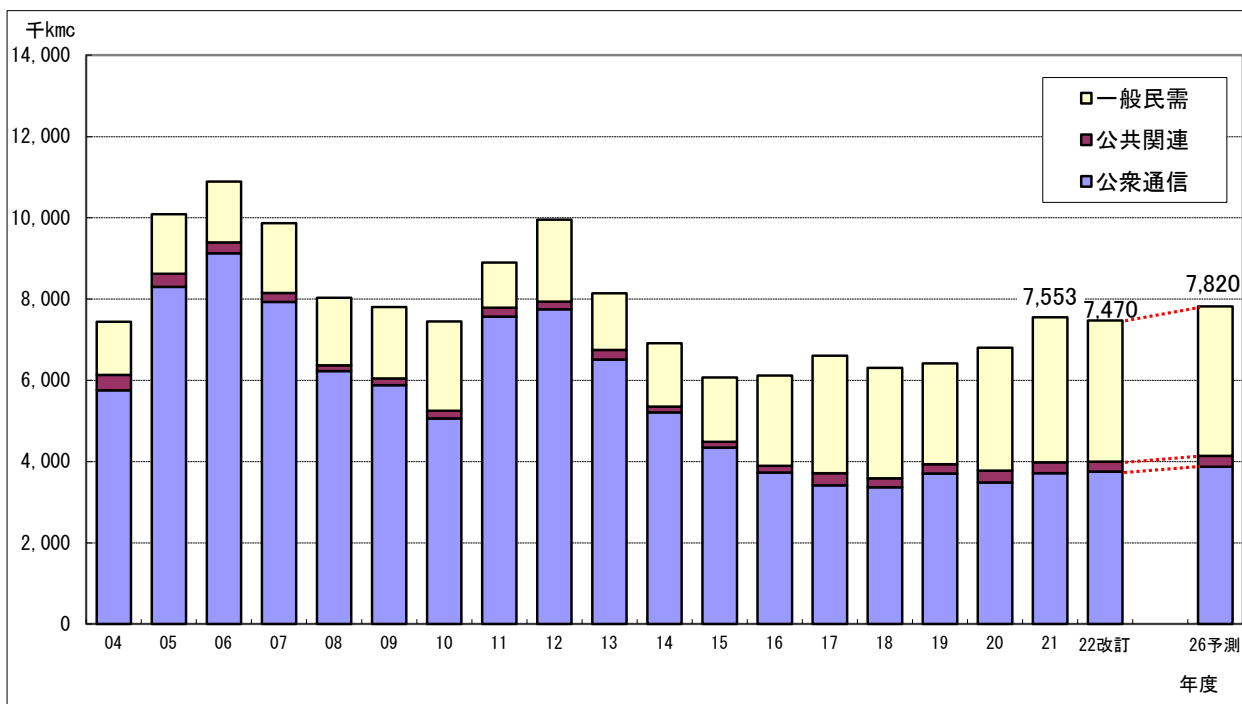
	2021年度実績	2022年度当初	2022年度改訂	当初比	前年度比
公衆通信	3,717	3,740	3,750	0.3%	0.9%
公共関連	263	260	250	-3.8%	-4.9%
一般民需	3,573	3,900	3,470	-11.0%	-2.9%
国内需要合計	7,553	7,900	7,470	-5.4%	-1.1%

(2) コメント

部門	コメント
公衆通信	高度無線化事業は終息するものの、リモートワーク、5G設備の需要は継続するとみて、当初比増、2021年度比+0.9%と予測。
公共関連	官公需の更新需要はあるものの、鉄道部門の設備投資は伸びず、当初比減、2021年度比-4.9%と予測。
一般民需	データセンター関連需要はあるものの、全般的に低迷傾向が続き、当初比減、2021年度比-2.9%と予測。
国内需要合計	公衆通信部門は2021年度比増と予測するも、公共関連、一般民需部門が伸びず2021年度比減と見込まれ、国内需要合計で当初比減、2021年度比-1.1%と予測。

2. 2026年度中期見通し

(1) 予測結果



単位：千kmc

	2021年度実績	2026年度予測	21～26年 平均伸び率	22改訂～26年 平均伸び率
公衆通信	3,717	3,870	0.8%	0.8%
公共関連	263	270	0.5%	1.9%
一般民需	3,573	3,680	0.6%	1.5%
国内需要合計	7,553	7,820	0.7%	1.2%

(2) コメント

部 門	コ メ ン ト
公衆通信	AI、IoT関連需要による通信線路設備は堅調に推移するとみて、2021年度比増と予測。
公共関連	コロナ長期化の影響による設備投資抑制は徐々に無くなり、官公需、鉄道部門で需要増が見込まれ、2021年度比増と予測。
一般民需	DX化やデータセンター関連需要は引き続きあるとみて、2021年度比増と予測。
国内需要合計	公衆通信、公共関連、一般民需部門ともに緩やかながら増加を見込み、国内需要合計は2021年度比増と予測。

以上

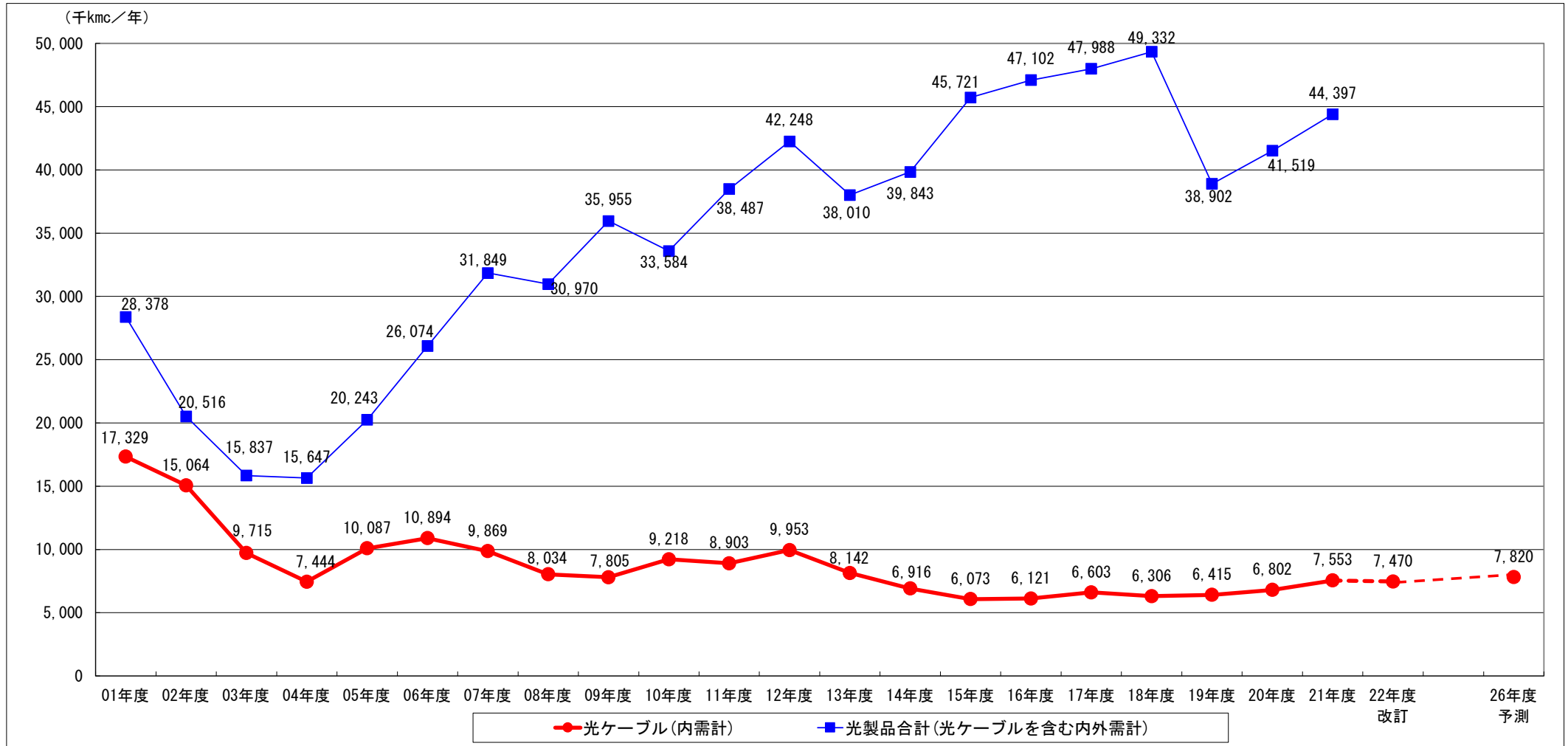
国内光ケーブル需要見通し

2022年9月

単位：千kmc/年度

年度 部門	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	21/20 伸び率	2022年度 当初見通し	2022年度 改訂見通し	当初比	22改訂/21 伸び率	2026年度 予測	26予測/21 年平均伸び率	26予測/22改訂 年平均伸び率
公衆通信	5,208	4,346	3,728	3,418	3,369	3,707	3,483	3,717	6.7%	3,740	3,750	0.3%	0.9%	3,870	0.8%	0.8%
公共関連	145	138	167	295	219	229	296	263	▲ 11.1%	260	250	▲ 3.8%	▲ 4.9%	270	0.5%	1.9%
一般民需	1,563	1,589	2,226	2,890	2,718	2,478	3,024	3,573	18.2%	3,900	3,470	▲ 11.0%	▲ 2.9%	3,680	0.6%	1.5%
合計	6,916	6,073	6,121	6,603	6,306	6,415	6,802	7,553	11.0%	7,900	7,470	▲ 5.4%	▲ 1.1%	7,820	0.7%	1.2%

注) 四捨五入のため計が合わない場合がある。



注：光製品合計の22年度改訂、26年度予測は作成していない。